

音大キャリア研究の第一人者が 「音楽を学ぶ意味」に切り込む！

久保田 慶一 著 『2018年問題とこれからの音楽教育
～激動の転換期をどう乗り越えるか？～』
好評発売中！



「2018年からの18歳人口の減少」「文系学部の廃止」「受験者数の減少」——。
大きな転換を迫られるなか、これからの音楽大学や教員、そして学生は何を目指し音楽と向き合うべきなのか？
音大キャリア研究の第一人者が音楽教育の真髄を解き明かし、その未来をダイナミックに予測する！

「音楽とどうつきあって生きていくか」などという問題は、人それぞれで、簡単な図式で考えたり、結論を出したりできないことは百も承知です。しかし、そのような一見複雑そうに見える問題や課題も、実は最終的には「自分が決める」という単純なことに行き着くことも、また真実ではないでしょうか。だからこそ、後悔しない人生を送るためにも、自分で納得のいく意思決定ができるということが、とても重要になってくるのです。本書では、個人と社会のさまざまなレベルでの記述が交錯しています。（略）自分が音楽とどう関わりながら、どう生きていくのかを、考えていくひとつのきっかけにいただければ幸いです。さあ、出口の見えない迷宮の世界に向かって、まずは勇気を出して、その第一歩を踏みだしてみようではありませんか。」——「はじめに」より

<目次>

- 【プロローグ】「文系学部の廃止」の衝撃
- 第1章 「文系廃止」より以前に「芸術系廃止」が始まっていた
- 第2章 「転換期」の日本の音楽大学
- 第3章 義務教育から音楽をなくしてはいけない理由
- 第4章 「音楽大学卒」は儲かる、儲からない？
- 第5章 音楽大学はなぜ必要なのか
- 第6章 21世紀の音楽家のキャリア・デザインー
- 【エピローグ】これからの音楽大学が目指すもの

<著者> 久保田 慶一（くぼた・けいいち）

1965年、大阪生まれ。東京芸術大学音楽学部、同大学大学院修士課程を修了。1999年、東京芸術大学より「博士（音楽学）」を授与。ドイツ学術交流会の奨学生として、ドイツ連邦共和国のフライブルク大学、ハンブルク大学、ベルリン自由大学に留学。東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学理事・副学長。著書に『C.P.E. バッハ改訂と編曲』『バッハの四兄弟』（音楽之友社）、『バッハキーワード事典』（春秋社）、『エマヌエル・バッハ』（東京書籍）、『音楽とキャリア』（スタイルノート）、『モーツァルト家のキャリア教育』『音楽用語ものしり事典』（アルテス・ブリッキング）、『西洋音楽史100エピソード』『音楽再発見100エピソード』（教育芸術社）、『孤高のピアニスト—梶原完』（ショパン）、編著書に、『はじめての音楽史』（音楽之友社）、『キーワード150 音楽通論』（アルテス・ブリッキング）がある。また翻訳書には『楽譜を読むチカラ』（音楽之友社）、『モーツァルト殺人法廷』『読譜法の歴史 モンテヴェルディからベートーベンまで』（春秋社）、『ティーチング・アーティスト：音楽の世界に導く職業』（水曜社）などがある。

<商品詳細>

2018年問題とこれからの音楽教育～激動の転換期をどう乗り越えるか？～

定価：2,000円（本体価格）＋税

仕様：四六判縦／202ページ

発売日：2017年1月23日発売予定

ISBN：978-4-636-93522-6

商品コード：GTB01093522

<http://www.ymm.co.jp/p/detail.php?code=GTB01093522>

【既刊好評発売中】

「音大卒」は武器になる

「音大出てどうするの？」の答えがわかる「本音の」キャリアガイド！ これまでになかった視点から音大生の能力とキャリアを解き明かす、すべての音大生必読の一冊！

著：大内孝夫

定価：1,600円（本体価格）＋税

仕様：四六判縦 / 196ページ

ISBN：978-4-636-91065-0

商品コード：GTB01091065

<http://www.ymm.co.jp/p/detail.php?code=GTB01091065>



お求めは、全国ヤマハ特約楽器店・書店または弊社オンラインショップ <http://www.ymm.co.jp/>まで。

【本商品に関するお問い合わせ】

(株)ヤマハミュージックメディア出版部

TEL：03-6894-0250

<http://www.ymm.co.jp/>